

# 高校生平和大使としてのアクション (Peace Messenger)

みらい創造科グローバル探究コース3年 井口さん (山鹿中出身)



山鹿小学校で平和教育の講師を務める井口さん

令和5年5月29日、山鹿小学校6年生対象の平和学習に、本校みらい創造科グローバル探究コース3年の井口さんが講師を依頼され、長崎修学旅行前の小学生に授業を行いました。井口さんは高校1年生の時から、高校生平和大使として、学校内外で様々な活動を行ってきました。そんな井口さんにインタビューしました。

高校生平和大使とはどのような活動をしているのですか？

井口 高校生平和大使は、1998年から現在まで、世界各地で核兵器廃絶と平和な世界の実現を訴え、国内外で発信を行っています。私は高校1年生の時に応募しました。それから、1年2年の秋にはフィールドワークとして長崎市で原爆の被害を受けた場所の訪問や被爆者の話を聞きました。2年の8月7日〜9日には、被爆77周

年原水爆禁止世界大会・長崎大会に出席し、世界の被爆者や私たちのようにアクションを起こしている方々と話をしたり、爆心地で平和を願うパフォーマンスを行ったりしました。

そのような貴重な機会を得ながら井口さん自身も様々なアクションをスタートさせたわけですね。

井口 高校内の活動としては、核兵器禁止条約に関する署名活動と千羽鶴作成を生徒総会で提案し、生徒の皆さんの協力を得て実現することができました。

多くの署名が集まっていましたね。

井口 1年生の時には290筆、2年生の時には305筆でした。千羽鶴も原爆がさく裂した8月9日に長崎市で行われている早朝集会で奉納しました。

鹿高生の協力を平和大使としてどう感じましたか？

井口 署名というと自分の名前を記すわけですから「怖い」というイメージがあるかもしれませんが、説明するとぜんぜんいいよ。」と言って署名してくれました。鹿本高校生も平和についてしっかり考えてくれていると感じてとてもうれしかったです。

鹿本高校外での活動も教えてください。

井口 2年生のころには、県内の他の高校生平和大使と一緒に、熊本市内や益城町の小学校、そして山鹿中

学校でも平和教育の講師を務めました。3年生になってからは、山鹿小学校で講師を務めました。この時は一人でした。

3年生ではまさに独り立ちしたんですね。実際のどのような授業を行ったんですか？

井口 ゴールとして 私たちが平和のためにできることは何かというを設定して、まず、核兵器禁止条約と、それに相反する核抑止論の話を経史的な側面からして、子どもたちにディスカッションしてもらいました。

核抑止論は間違っていますよ。」というような方向性の話はするんですか？

井口 いいえ。教えることが目的ではなく、子どもたちに考えてもらうことが目的なので、子どもたちが自由に発言できるように、考



山鹿小学校での井口さんの授業風景

え方の押しつけはしないようにしています。

井口さんが授業を通して伝えられたことは何ですか

井口 自分で考えて、気になったら調べてほしいし、何か思ったら行動してほしい。そうやって行動すると、同じような考えの人との出会いもあるので、考え続けることをやってほしいと思っています。

高校生平和大使としての思いを教えてください

井口 平和って難しいですね。フワフワしていて、でも、一人一人の幸せである状態が平和というものだと思うので、一人一人のサポートというものが軸にあります。でも、それが難しいからこんな問題になっていると思います。でも、私たちが学んだSDGsや課題研究も「一人一人の幸せ」につながっていると思います。

後輩たちにメッセージをお願いします。

井口 平和という言葉は結構きれいなこととらえられることが多いのですが、自分から行動すると見えてくるものがあります。これまで他人事を感じていたことが自分事につながります。私たちはこれから社会人になり、これからの世界を作ります。その自覚を持って学んでいきましょう。